

NPO法人コンカリーニョ 2021 年度事業報告

1. 事業の成果

コロナ収束が見通せない中、2020 年度同様、コロナ感染拡大予防に努めながら、文化活動の灯を消さないために、できることを最大限に行った。コロナの影響は、依然大きく、劇場の稼働も 2020 年度より、幾分下回り、お客さんも感染状況に左右されるという状況は、変わらなかった。しかしながら、各種公的支援も活用しつつ、感染状況にもらみながら、利用者さんとの綿密な打ち合わせの下、文化活動を支えることができました。

<2021 年度トピック>

- ・コンカリーニョは、キャパ 100%入場可能になった。
- ・パトス 暖房工事も完了し、ホールの本格的活動再開のめどが立った。
- ・あけぼの 安定的運営で、法人全体の活動を支えた。

【2021 年度での助成金等支援（コロナ支援）】

中小企業庁月次支援金、事業復活支援金、雇用調整助成金、札幌市文化芸術活動再開支援事業、文化庁「文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業」、文化庁 ARTS for the future (AFF)

2. 事業の実施に関わる事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

I. 施設運営事業 事業費 33,298 千円

A) 生活支援型文化施設コンカリーニョ

今年度もひたすらに感染症対策との戦いであったが、劇場スタッフも利用団体も、そしてお客様も感染症対策に慣れたこともあり、作業的にも気持ちの面でも多少のゆとりが出てきた。

4 月からは客席数を 100%の 173 席に復帰。5 月には劇場の換気扇を 1 台新調して必要な換気量が確保できた為、1 時間に 1 回行っていた窓やドアを開けての換気作業を無くすなど、ガイドラインで設けていた制限も少しずつ緩和している。諸々の状況、情勢を踏まえて臨機応変に対応した。

		前年度比 コロナ前比
利用率	27.8%	5.4%減 34.2%減
プログラム数	21 本 (中止等 3)	9 本減 43 本減
総利用者数	5,520 人	26.3%増 17,296 人減
事業費	13,468 千円	10.2%減

また今年度は前年度に比べてプログラム数が減少しているが、これは前年度実施された「さっぽろアートライブ（無観客配信）」という助成金制度が今年は無かった為と考える。（前年度はこの助成金を使っての利用が非常に多かった。）利用が少なかった分、劇場のメンテや、不用品の処分、アルバイトスタッフと共に基本的な作業の段取りの再確認などを行うことができた。

B) ターミナルプラザことにパトス

換気調整は行ったものの、感染状況、定員制限もあり、また、年度後半（3～6月）は、暖房・空調機の入替え大規模改修工事のために4ヶ月の休館もあり、本格的予約獲得営業までは行うことができなかった。

ホール稼働率	2.4%	2.4%増 57.2%減
プログラム数	1本 (中止等2)	1本増 120本減
総利用者数	175名	350%増 20,023人減
事業費	2,194千円	5.0%減

C) あけぼのアート&コミュニティセンター

第4期1年目

緊急事態宣言発出により5/9～7/11、8/10～9/30休館

一般貸室の稼働率は、新型コロナウイルスの影響が更に増し、全体平均で5.3%減少した。校舎棟貸室の3室は、定期利用団体数も増えたが、感染の波での休館もあり、中途解約、活動休止が続き、特に合唱、吹奏楽などは人数制限が厳しく、利用には結びつかなかった。一方体育館は、札幌市内の他の施設が利用出来ない事情が継続し、土、日の利用料値下げの効果も加わり、定期利用団体数も4団体増え、前年度より更に稼働率が向上し活性した。長期貸室は、空き室だった1室に生涯学習等の団体が契約し、14室全て入居となった。

		前年度比 コロナ前比
利用率(長期)	96.3%	0.2%増 1.1%増
(一般貸室)	46.2%	5.3%減 6.8%減
総利用者数	31,420人	8.1%減 18,277人減
事業費	20,051千円	7.8%増

「地域とアートの連携事業」は、イベント事業「あけぼの学校祭」が、新型コロナの影響により中止となったが、「あけぼのdeクリスマス音楽祭」は、感染リスクを抑えた内容実施した。また屋外での「秋の栗拾い大会」、体験講座事業として「松ぼっくりX'masツリー作り」を開催し、地域の方、近隣のお年寄りや親子、子ども達が参加した。

主な事業		
7月3日～4日	あけぼの学校祭	中止
8月1日	サマーフェスティバル	中止
10月10日	秋の栗拾い大会	21名
11月20日	松ぼっくりX'masツリー作り	13名
12月12日	あけぼのdeクリスマス音楽祭 (あけぼのハンドベル部)	出演13名 観覧25名
通年	○あけぼのファーム活動 3団体、13個人登録 ○図書ボランティア 8名登録、総利用登録 184名 蔵書4,475冊、年間貸出書籍数 539冊、総利用者数 259名	

○入居者会議 奇数月第2水曜日（6回）臨時入居者会議（1回）

○地域連絡協議会 2回（前期7月15日、後期2月24日）

○曙通信発行 曙まちづくりセンターと共同編集、連合町内会で回覧4回（8月、11月、2月、6月）

Ⅱ. 企画事業

事業費 10,376 千円、総来場者数 2,919 名

7月24日～31日	札幌演劇シーズン 2021 夏 words of hearts 「ニュートンの触媒」	10st 350 名
8月7日～14日	札幌演劇シーズン 2021 夏 ELEVEN NINES 「プラセボ/アレルギー」	12st 892 名
10月23日・24日	【文化庁AFF】テント演劇事業@ゆにガーデン プロデューサー：村場踊（らんびょうし本舗）	2 日間 1,500 人
2月5日～12日 (8～12日中止)	札幌演劇シーズン 2022 冬 劇団弦巻楽団「ナイトスイミング」	4st 177 名

主催事業 1 本、参画実行委員会主催 3 本

Ⅲ. 出前派遣事業

事業費 271 千円

Ⅳ. 共通事業

○会員郵送(150 部*2 回)

○内部ミーティング

役員会：定例奇数月第 2 月曜日 19:00～ 5 回（7 月、11 月、1 月、3 月、5 月）

スタッフ MTG

各セクション MTG

(2)その他の事業 該当なし